

岡山大学文明動態学研究所第1回特別展

『津島から世界へ、世界から津島へ』

**ポスターデザインコンテスト
募集要項**

2022

岡山大学文明動態学研究所

岡山大学文明動態学研究所は2021年4月に設立された岡山大学で最も新しい研究所です。現代社会が抱える様々な問題を人類の文明の消長という大きな枠組みのなかで見つめ直し、過去の探求と地域への着目から得られた新たな知で、持続可能な社会の構築に貢献する新学問、文明動態学の創造を目指しています。

<https://ridc.okayama-u.ac.jp/>

2023年2月から3月にかけて、当研究所は岡山シティミュージアムと共催で、特別展『津島から世界へ、世界から津島へ』を開催いたします。本コンテストではこの特別展におけるポスターデザイン案を下記の要領で募集いたします。岡山県内、県外、プロ、アマ、学生を問わず、奮ってご応募ください。展示の内容につきましては、以下の展示概要をご参照ください。

<https://www.facebook.com/ridcokayama/>

記

締切

- 2022年8月31日17時（必着）
 - 締め切りを過ぎて到着した作品は審査対象とならない。

賞

- 優勝作品は特別展ポスターデザインとして採用
 - 印刷媒体として会場掲示、事前配布に使用する。
 - Web素材として研究所WebSite、SNSなどで広く広報に使用する。
- 最優秀作品1点に副賞としてQUOカード（5万円程度）を授与

募集内容

- 特別展で使用するポスターデザイン
 - 既存のデザインと著しい重複を認めないこと。
 - 大学研究所主催の特別展であることを踏まえ、公共の場に掲示する作品として、公序良俗に反する表現を含まないこと。

提出物

- 作品
 - B1（縦向き）のポスターに対応できる解像度で制作すること。
 - PDFファイル形式にて、下記問い合わせ先のメールアドレスに提出すること。
 - ✧ 審査後、採用作品以外のPDFファイルは全て削除する。
 - ✧ 審査の途中で作品を印刷して評価することがあるが、審査後、採用作品以外は全ての印刷物をシュレッダー処理する。
 - 下記に挙げる文言、画像をデザインに取り込むこと。開催情報以外は必ずしも全てを取り込む必要はない。文言の字体、大きさ、画像の大きさは問わないが、最低限A4サイズで識別可能であること。新たな文言、画像は挿入しないこと。また採用後に文言の修正や新たな文言の追加を求める場合がある。画像は上記の研究所Facebookページで確認、ダウンロードを行うことができる。
 - ✧ 開催情報：
会期 令和5年2月10日（金）～3月19日（日）
開館時間 午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）
休館日 毎週月曜日
会場 岡山シティミュージアム 4階企画展示室

岡山市北区駅元町 15-1

入館料 無料

主催 岡山大学文明動態学研究所、岡山シティミュージアム

協力 BIZEN 中南米美術館、倉敷考古館

◇ 文言：

「研究の拠点、津島を知る」、「世界とつながる津島」
「古代マヤと津島：文明動態学が結ぶ縁」「現代を生きるマヤ」

◇ 画像：文明動態学研究所ロゴ

<参考画像>

津島岡大遺跡出土縄文土器、津島キャンパス赤レンガ建物

グアテマラ共和国ティカル遺跡、ホンジュラス共和国コパン遺跡

参加資格

- 特になし
 - 個人でもグループでも応募が可能だが、グループの場合、必ず代表者を定めること。

参加費

- 無料

審査員

- 岡山大学文明動態学研究所所長及び関係所員

結果発表

- 2022年10月1日に文明動態学研究所 WebSite にて発表
 - 優勝者へは事前に通知（予定）

著作権の扱い

- 著作権は作家に帰属するものとする。ただし、印刷物、WebSite、関連 SNS 掲載等、特別展『津島から世界へ、世界から津島へ』の広報に関する著作権使用の権利は、文明動態学研究所が有するものとする。
- ポスター採用後、実際の広報運用に即してポスターデザインに若干の変更を求める場合がある。
- 応募者の個人情報、本企画の広報、結果通知、作品の問い合わせなどに使用し、他の目的には使用しない。
- 応募者は主催者の運営方法に従うものとし、運営方法について一切異議申し立てないものとする。
- 選考結果に関する問い合わせは一切応じられないものとする。

問い合わせ先

- 文明動態学研究所 担当 鈴木
 - Mail postercontest2022@s.okayama-u.ac.jp
 - 件名に「特別展ポスター」と記載すること。
 - メールアドレスは採用作品の決定（2022年9月末日）までのみの運用。



RIDC

岡山大学

文明動態学研究所

RESEARCH INSTITUTE FOR THE DYNAMICS OF CIVILIZATIONS,
OKAYAMA UNIVERSITY